

ら大きな学びを得ています。好きなことを思いっきりやらせてみてください。(了)

天使幼稚園

# 子育てと幼児教育

令和4年9月発行

今回のテーマ

## 子どもにとっての公園遊び

新型コロナウイルスの影響で、屋外で遊ぶ時間がめっきり減ったと言われています。公園で遊ばせるにしても、幼児は小学生の子どもと違ってまだまだ目が離せない時期でもあります。ご両親にとっても様々な不安があると思いますが、それでも体力づくりや子どものストレス発散の為に公園遊びは外せません。暑さも落ち着くこれからの季節、お子さんを公園で遊ばせてみませんか。

制作：学校法人豊山学園 天使幼稚園

〒480-0202 愛知県西春日井郡豊山町豊場字神戸 178-1

TEL (0568) 28-2089 / FAX (0568) 39-1500

## 公園では様々な力が育ちます

では公園で遊ぶことで子どもの何が伸びるのでしょうか、見ていきたいと思います。公園では、子どもたちは走り回るだけではなく、色々な遊具を使って遊びます。そして筋力やバランス感覚はもちろん伸びますが、空間認識力なども向上します。例えば、滑り台を使う時は、登って滑り降りてという動作の繰り返しで筋力が付いたりバランス感覚が養われたりします。またジャングルジムをよじ登れば、手や足を同時に複数動かす協応動作や縦横に加え奥行きも見るので空間認識力が伸びます。砂場遊びでは、子どもたちは砂で色々なものを作ったりします。頭に思ったものを砂で具体化しているのです。これは想像力を伸ばすことに繋がります。子どもに体力をつけさせるばかりではなく、公園では様々な力をつけることができます。ですから親が子どもの遊具遊びにこだわることなく、子どもの自由に遊ばせることが大切です。

## 公園は子どもの社交場

公園はたくさんの子どもの集まる場でもあります。初めて会う子ども同士で気が合って一緒に遊ぼこともありま

す。おもちゃの貸し借り、おままごとでどんな役をするかをきめたり、子どもたちは遊びながら自然とコミュニケーション能力を身に付けていきます。時にはケンカをすることもあるかもしれませんが、しかし、それも経験の一つと極力見守るようにしましょう。こどもにとってはそれもどうやって解決するかを学ぶ機会にもなります。

## 公園遊びをさらに楽しく

多くの家庭にとって近所の公園は限られていると思います。それでも子どもにとって楽しい時間を過ごし、色々な経験を得られる場にしたいと思われるでしょう。そんなときは、公園に行く時間を変えて見るのが有効かもしれません。いつもと違う人がいたり、日の当たり方が変わるので影の向きが変わっていたりします。それらは小さな変化かもしれませんが、子どもにとっては新しい刺激になります。いつも午前中に行っているなら、夕方に行ってみるとか、またたまにはお弁当を持っていくのも子どもにとって新しい経験になります。

公園遊びは、子どもの力が育つ場です。しかしそれはあくまで「遊び」です。親は、決して習い事ではないことを覚えておきましょう。何かをやらせようとしたり、身体を鍛えようとしたりする必要はありません。子どもは遊びか